(様式第4号)

健康づくり推進協議会 会議概要

1 審議会名 健康づくり推進協議会

2 日 時 平成24年10月5日(金) 午後1時30分から午後3時00分まで

3 会 場 ひとまちげんき・健康プラザうえだ 2階 第一会議室

4 出席者 甲田会長、児玉副会長、小林委員、澤路委員、下村委員、関委員、土屋委員、

仲原委員、中野委員、馬場委員、宮坂委員、師岡委員、山野井委員

5 市側出席者 清水健康福祉部長、桜田健康推進課長、高野丸子健康福祉課長、

若林真田健康福祉課長、北沢武石健康福祉課長、宮崎保健予防係長、

橋詰ひと・まちげんき担当係長、遠藤ひと・まちげんき担当係長、小宮山保健推進係長、 宮沢丸子健康推進係長、宮山真田健康推進係長、尾美健康推進係長、長田主査、白鳥主査

吾妻主査、下村主任

6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開

7 傍聴者 0人 記者 2人

8 会議概要作成年月日 平成24年10月12日

協議事項等

- 1 開 会(桜田健康推進課長)
- 2 あいさつ (清水健康福祉部長)
- 3 委嘱書交付 今年度変更となった 4 人に交付
- 4 自己紹介(各委員、市出席者)
- 5 諮問

第二次上田市民総合健康づくり計画策定について

- 1 市民が主体的となる健康づくりへの支援に関すること
- 2 疾病の発症予防と重症化予防の推進に関すること
- 3 生涯にわたる健康づくりの支援のための環境づくりの推進に関すること

以上3項目の答申について健康づくり推進協議会会長からあいさつ。

- 6 協議事項
 - (1) 上田市健康づくり推進協議会の運営等について(宮崎係長) 【資料1】 上田市健康づくり推進協議会の任務、組織、任期、今後の開催予定について説明。
 - (2) 上田市民総合健康づくり計画(案)について (遠藤係長) 【資料2】

第一次計画は全体的な計画であったが、第二次では焦点を当てた見直しを行う。時代の変化が著しいことから、 5年計画で29年までの計画とする。

現状と課題を分野ごとまとめ、総論として施策の展開をする。

(3) 第二次計画の策定について (長田主査)

【資料3】

ライフステージに応じた生活習慣病予防と自殺対策、歯周疾患予防、母子保健の充実を図り、市民の健康課題に 対応した施策を総合的に展開するため、「第二次上田市民総合健康づくり計画」を策定する。

生涯を通じた健康づくりの推進を基本理念とし目標を定め、施策を推進する。

質疑応答

(委員) 最終評価のまとめ(表1)について内訳を合計しても100%になっていないが何故か。

(事務局) 小数点以下の調整が不足していたので訂正する。

(委員) 最終評価の悪化傾向にあった項目について項目ごと分析し原因と対策を考えているのか。第二次につ ながるものだと考える。示してほしい。

(事務局) 分野ごと分析したが項目ごと原因と対策を考えることはしていない。項目の中には評価困難なものもあった。悪化傾向の項目について分析を深め、もう少し詳しく表したい。

(委員) 最終評価をするためのアンケートはどのように実施したのか。

(事務局) 抽出方法は市民 3,000 人無作為抽出、父親調査 350 人、母親調査 361 人を乳幼児健診時に、中学生高校生

調査867人を学校の協力にて実施した。このアンケートを指標の最終評価の資料とした。

(委員) 推進する6分野の中で健康管理分野は質が違うと感じた。捉え方としてどうか。

(事務局) 他の分野を包括する要素があるところとして異なると考えられるが、他の分野と連携をとり実施したい ため

他と同様の並列した分野とした。

(委員) 施策体系図示でも健康管理分野は、土台になり他の分野の基礎となるものと感じる。健康管理は「自分自身が健康を守る意識と、正しい知識のもと行動できること」としており、「栄養・食生活」「身体活動・ 運動」がそれにあたると考えられる。同列というより土台であり混乱を招くおそれがある。

(事務局) 他の分野との関わりもある。意見を参考に表し方を再検討しお示しできるようにする。

- (4) 上田市の現状について (吾妻主査) 【資料 第2章 統計から見た上田市の現状】 1人口動態 悪性新生物・心疾患・脳血管疾患の3大生活習慣病による死亡が約半数を占める。
 - 2 介護の実態 要介護認定者割合が高く、前期高齢者の39%は脳血管疾患が原因で要介護認定者になっており予防が重要。
 - 3 医療の実態、 長野県と比較し一人当たりの医療費が高くなっており、年次推移では糖尿病の増加が顕著。
 - 4 健康実態から見た今後の課題 健康寿命の延伸の視点に基づき若い世代からの健康づくりが課題。

質疑応答

(委員) 壮年期死亡原因上位疾患のグラフで、概ね経年で増加推移しているが、55-59歳の全体及び男性で死亡者が減少していることの原因は何か。

(事務局) 現時点で分析できていないため次回にお答えしたい。

7 その他(事務局)

(事務局) 調整により次回日程を11月13日(火)の午後1時30分からと決定。

8 閉 会(清水健康福祉部長)

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。